

新しい公民館事業 ～「校区コミュニティ」づくり～

須恵町 須恵町第三小校区コミュニティ 【コミュニティセンター】
ふれあいレインボー 事務局長 南里 國秀

1. 事業名

須恵町校区コミュニティ事業（第三小校区コミュニティ ふれあいレインボー）

2. 事業の目的

地域の人々が出会う機会をもち、ふれあい、学びあい、相互の理解を深める。

思いやりと助け合いのある豊かな人間関係の確立や安心・充実した生活が営まれる地域づくりを目的とし、校区内6行政区や地域各種団体、家庭、学校等が協力し合いながら地域課題解決のための活動を続けている。

3. 事業の実施主体

須恵町第三小校区コミュニティ ふれあいレインボー

4. 連携・協力機関・団体等

須恵町

5. 事業予算

須恵町より補助金 1, 500, 000円+保険代

各団体より負担金 372, 000円（平成29年度）

6. 実施に至る経緯

須恵町では、平成に入った頃より、社会教育委員の会議を中心として、“小学校と地区公民館の共有化”を構想として抱いていました。

そして、平成12年に出された「教育改革国民会議」の2つの提言をきっかけとして、ボランティア派遣事業の事務局と小学校区を単位とした地域の地区公民館としての機能を有する「校区コミュニティ事務局」を平成13年に小学校内の余裕教室に開設しました。

7. 事業の内容

校区コミュニティを構成する母体は、各行政区やPTAなどの各種団体であり、各団体から選出された代表からなる「推進会議」が構成されています。推進会議は活動

の目的毎に「部会」に分けて活動をしており、ふれあいレインボーでは、「事業部会」「広報部会」「防犯部会」の3つがあります。

また、コミュニティ主催で毎年開催している「ふれあい夏まつり」は、推進会議全体を「夏まつり実行委員会」として再編成し、事業を行っています。

①ふれあい夏まつり

この祭りは、校区内の6つの各分館で開催していた夏まつり・盆踊りを開催するにあたって問題視されてきた、参加率の低下や役員の高齢化などの解消を狙い、校区6分館合同開催としたものです。

夏まつり実行委員会を中心に校区一体となって準備を進め、毎年夏の一大イベントとして大いに盛り上がっています。祭り最後の「総踊り」では、盆踊りの大きな輪が2重3重に広がるなど、様々な枠組みを超えた「地域のふれあい」を実現することが出来ています。



②事業部会

事業部会は、1年を通して地域の方々や子どもたちとの交流の場を目指して活動しており、主に公民館活動としてとらえています。

シャッフルボードを行った【軽スポーツ大会】や、小学校の運動会に「ふれあいレインボー種目」を組み込んで行う【ふれあい運動会】などの企画・運営を行います。

そして、6つの子ども会育成会の合同事業である【ふれあいお楽しみ会】は、唯一子どもたち自らがレクリエーションやビンゴゲーム等の企画・運営を行う事業です。大人は手を出さずに見守ることで、子どもたちの企画力の向上や事業運営のノウハウ習得など「生きる力」を学ぶ取組みとして位置付けています。



【軽スポーツ大会】



【ふれあいお楽しみ会】

③防犯部会

防犯部会は、地域の安心・安全を目指した取組の実施や安全対策に関する情報交換、校区への発信などを行います。メンバーは青少年指導員や民生委員、幼稚園の園長先生、中学校の先生など、子どもから大人まで様々な目線を持った方達で構成されています。

「110番の家」を大人も一緒に子どもたちと訪問する【子ども110番ウォークラリー】では、子ども110番の家に登録されてある家を確認するだけでなく、感謝の言葉を伝えるという活動を行っています。

年に4回設定されている【地域防犯パトロールデー】では、地域すべての方が地域防犯に関わる日として、一人ひとりが自分にできる防犯活動を行います。その他にも、子どもと高齢者を対象とした「自転車教室」や、AEDの使い方を学ぶ「救急救命講習」などを実施しています。



【防犯パトロールデー】



【救急救命講座】

④広報部会

広報部会は、コミュニティの活動を知ってもらいたい。もっと地域へ情報を・・・と思いながらコミュニティの事業内容のお知らせはもとより、校区内の各種団体の活動、行政区で行われるイベントなどを紹介した「ふれあいレインボー通信」を年2回作成しています。

8. 事業の成果

平成13年から始まった校区コミュニティ事業の成果として、地区公民館を中心とした、行政区や団体との協力体制が整ったこと、学校支援としての機能が整ったことで「コミュニティ・スクール機能」が構築できたことが挙げられます。

今年は特に、普段あまり地域の行事等に参加することが少ない中学生に対しての協力依頼を行ったり、平日の昼間に小学校の体育館を使って防犯講座を開催したり、学校とコミュニティの連携・協力がより強くなったと感じています。

9. 今後の課題

これから先の「地域づくり」は課題が山積しています。価値観や時代の変化により「新しい公共の創造」と、行政・地域・企業等が地域づくりに携わっていく「協働のまちづくり」が求められています。

第三小校区でも、空き家問題について話し合いが始まっていますが、今後の目標として「地区公民館」の機能を有した校区コミュニティをさらに発展させ、様々な地域課題の解決を目指す「くらしのコミュニティの創造」が掲げられています。

私たち校区コミュニティの事業を通して地域の方が、「地域の大切さ」や「地域が持つ大きな力」を知ることに繋がれば良いと思います。

問合せ先

〒811-2221 福岡県糟屋郡須恵町大字旅石 84-10 須恵第三小学校内
ふれあいレインボー事務局 TEL : 092-936-8205 (火・木・金 13時～17時)